8-1 手すりの取り付け

木下地・軽量鉄骨下地：ねじ固定の場合

固定金具品番	同梱のねじ・座金をご使用ください。

注 意

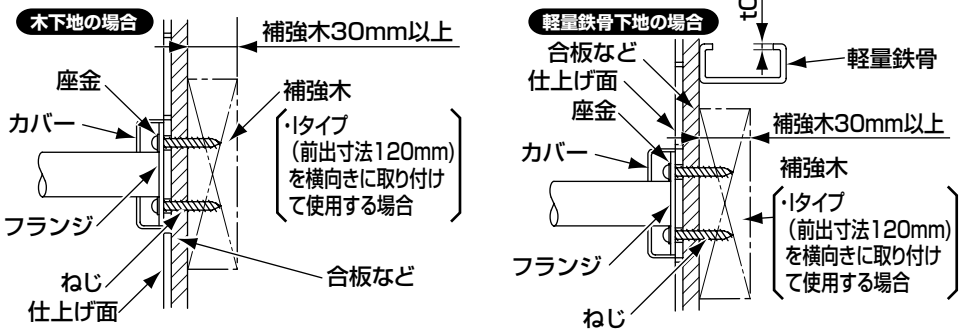
厚み12mm以上の合板、または同等以上の下地材に取り付けてください。なお、Iタイプ(前出寸法120mm)TS134GMY6・8、TS134MY6・8を横向きに取り付けて使用する場合は、30mm以上の補強が必要です。壁自体に強度がないと、手すりがガタついたり、外れたりすることがあります。

①事前に手すりに合わせた厚みの補強木を取り付ける。

②心出しをしたあと、下穴(φ3mm)をあける。注1
（タイル壁の場合は、タイル部のみ通し穴をφ5.5mmのドリルであけてください。）

③ねじに座金を通しフランジの取付穴より取り付ける。注2・3

④カバーを仕上げ面に押し付ける。



注 意

注1：指定寸法の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：ねじをねじ込む前に、穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

注3：ねじを強く締めすぎて合板・補強木やタイルなどを破壊しないように注意してください。

コンクリートブロック下地・コンクリート下地：プラグ固定の場合

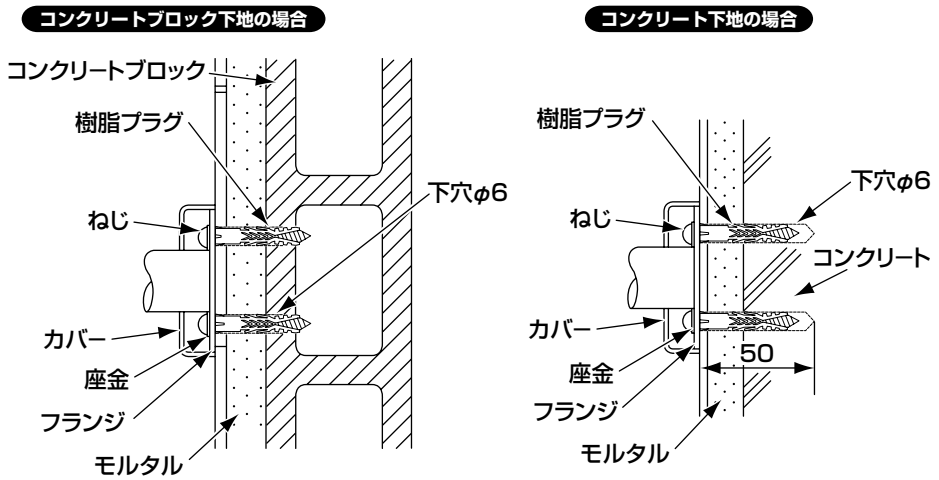
固定金具品番	T110D28、同梱のねじ・座金をご使用ください。

①心出しをしたあと、樹脂プラグの下穴(φ6mm、深さ50mm)をあける。注1

②樹脂プラグを下穴に軽く打ち込む。

③ねじに座金を通し、フランジの取付穴より取り付ける。注2・3

④カバーを仕上げ面に押し付ける。



注 意

注1：指定寸法の下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：ねじをねじ込む前に、穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

注3：ねじを強く締めすぎて合板やタイルなどを破壊しないように注意してください。

8-2

トイレブース：はさみ込み固定の場合

固定金具品番	T110D22R

注 意

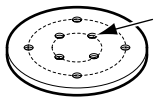
●トイレブースは厚み40mm、ペーパーハニカム、メラミンもしくはポリエステル化粧合板仕様相当の場合のみ取付可能です。

●壁からの前出寸法が65mmの手すりのみ取付可能です。
65mmより長いと手すりが外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

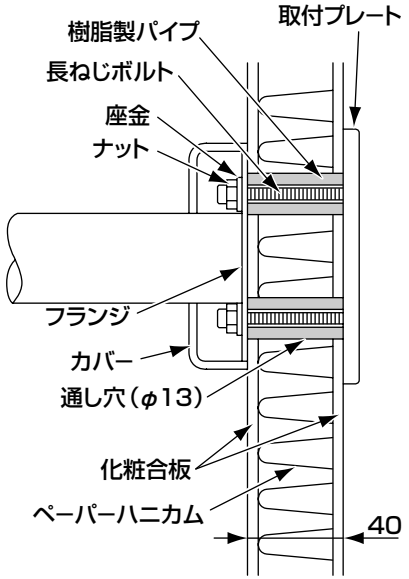
①心出しをしたあと、φ13mmのパイプの通し穴をあける。

②樹脂製パイプを通し穴に挿入する。注1

③取付プレートの内側のボルト穴に接着剤を塗布し、長ねじボルトを最後までねじ込み、ブース裏側より樹脂製パイプの穴に差し込みながらあてる。
※取付プレートには外側と内側に4ヶ所ずつボルト穴があります。ボルト穴を確認して取り付けてください。



こちらを使用する。



④フランジの取付穴を長ねじボルトに通し、座金、ナットで締め付ける。注2

⑤カバーを仕上げ面に押し付ける。

注 意

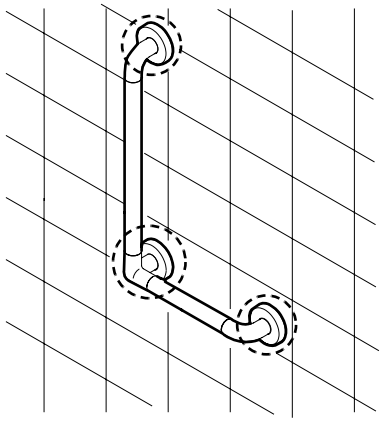
注1：トイレブースに補強木を入れた場合は、固定金具に同梱のパイプは使用せずに取り付けできます。

注2：長ねじボルトの穴の周囲にシーリング剤を必ず塗布してください。

※他の施工方法については、当社各支社・支店、営業所へお問い合わせください。

9 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



ガタツキの確認

手すりにガタツキがないか確認してください。

接続部はしっかり組み立てていますか？

↳ 6「手すりの組み立て」参照

手すりは壁にしっかり取り付けていますか？

↳ 8「手すりの取り付け」参照

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。